



第440号  
2019年  
1月16日

発行所  
静岡県高等学校障害児学校教職員組合  
静岡市葵区駿府町1-12  
高教組新聞編集委員会  
http://www.s-koukyouso.jp/  
e-Mail info@s-koukyouso.jp  
TEL (054) 254-6900  
FAX (054) 254-0814

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、全教職員に配布しています

「平和」の情景

冬休みの一日。富士山が見える勤務校のグラウンドでは、他県から来たらしいサッカー部が練習試合。私はといえば、顧問4年目にしてようやく獲得した写真部の部室を借りて仕事をしていました。この写真には様々なものが写っています。山森林、鉄塔、グラウンド、サッカーゴール、テニスコート。これらが守られているのも「平和」なればこそ。ところで昨年末、今年で「生前退位」する天皇の記者会見が行われましたが、「平成」が戦争のない時代として終わろうとしていることに、心から安堵しています。という発言が印象的でした。天皇制や元号への賛否はともかく、その率直な心情はよく理解できます。大切なのは、立場や意見が異なる人々をこそ理解しようと努め、一致点を探ろうとすること。それが「平和」の原点ではないでしょうか。

撮影：遠藤 覚（執行委員）／撮影地：伊豆総合高校（伊豆市）



年頭所感



静岡県高等学校障害児学校  
教職員組合 執行委員長  
木藤 功

明けまして  
おめでとうございます

旧年中は高教組運動へのご理解ご協力ありがとうございました。  
本年も教職員の皆さんが安心して教育活動、職務に専念できる教育環境、勤務条件の改善を求めて活動をすすめていきます。引き続きのご理解ご協力をお願いします。

昨春秋の県教育長交渉で県教育委員会は、「新たな人事評価制度」を組合との協議は続けるとしながらも、試行結果の十分な検証と情報公開などを求める声に応えず、19年度の本格実施を明言しました。評価結果の給与への反映が現実となれば、言うまでもなく評価は相対化され、上位評価と下位評価が存在することになります。本格実施でどのような事態や影響が教育の現場で生じてくるのか、静岡県県の教育に本当に必要な制度なのか検証されないまま強行されることに強い危惧を表明せざるを得ません。教育委員会の責任は大きいものがあります。高教組は引き続き重要課題として、原則を堅持しつつ必要な協議や問題提起、制度廃止を含む交渉をすすめていきます。

安倍首相は、改憲勢力と言われる議員の数が国会の4分の3を占める状況にあつて、昨年の通常国会での改憲発議を

狙っていましたが、憲法3000万署名をはじめとした運動と世論の力で、発議どころか、憲法審査会への自民党案の提案さえできませんでした。国民の多くが安倍政権のもとでの改憲を望んでいないことは明らかです。今年は一斉地方選挙、参議院選挙が行われます。政治革新にむけて、改憲を許さない運動をさらに広げていきたいと考えています。

教職員の多忙化の現状は一向に改善されず、心身の負担は日々の教育活動に悪影響をもたらしています。文科省は部活動ガイドラインや外部人材の活用、教職員業務の精選、時間外勤務時間の上限規制などの施策はすすめています。抜本的な改善には繋がっていません。県教育委員会は国の動向、施策も見ながら年度末までに「学校における業務改革プラン」を策定するとしています。施策内容や実効性に注視しながら、定数増や予算措置に踏み込み、「改革」の名にふさわしいプラン策定を期待します。

静岡高教組は18年度役員改選の年にあたり、11月の役員選挙で執行委員長として深田祐文さん（清流館高校勤務）が選出されました。19年度は新たな執行部体制でスタートします。教職員のみならず一人でも多く組合に加入し、ともに活動できることを期待して年頭の所感、あいさつとさせていただきます。



# 現場の声を反映し、誰もが、働きやすい職場に 専門部交渉で切実な要求

静岡高教組は、昨年12月21日と25日に専門部交渉を行い、のべて80人以上が参加しました。各専門部からの要求に対して、高校教育課長 特別支援教育課長などが回答しました。主な交渉内容と今後の課題などを報告します。

## 《臨時教職員部》

同一労働・同一賃金に向けた再来年度からの新たな任用制度（会計年度職員・任期付き職員）への期待も含め、非常勤講師の待遇改善を主に求めました。

「契約勤務時間以上の業務が課されないよう指導すること。やむを得ず超過した場合にも賃金が支払われるようにすること」という要求に対して、県教委は、従来の解答通り、週の時間数の枠内でのみ進捗はなく、超過勤務せざるを得ない実態については無回答でした。

「1単位時間当たり3,000円以上にあたる月給制にする」と、当面長期休業中も勤務を保証し、所定勤務時間に相当する賃金を支給すること」についても、特に明確な回答はなく、会計年度職員化に向けての制度改正のため現在検討中とのこと。

## 《定通部》

交渉では主に提出した要求書の重点項目について、回答が示されました。昨年度、志

地区の藤枝東・島商の夜間定時制を廃し金谷高校を多部制・単位制の定時制に変える、という計画が示されました。今年度は静岡市立

## 《女性部》

昨年の取り組みの成果としては3点あります。1点目は8月に女性部の総会が開かれ、女性職員に対する制度や休憩室・トイレなどの環境設備が遅れていることなどが話題にあり、楽しく意見交換をすることができました。

2点目は、「妊娠、出産に関わるアンケート」の取り組みです。60名以上の声を集めることができました。妊娠した時の代替講師が見つからない問題や管理職によるマタハラ発言など、多くの問題が浮き彫りになりました。

3点目は、昨年12月の交渉で大きな前進がありました。定時制高校に複合的にある貧困・学習障害・外国籍・日本語を母語としない生徒・LGBTといった困難な課題は認識してはいるよう

こと、また地理的なことを考慮すれば志摩地区のいずれかの夜間定時制を残すことを要求しました。しかし県教委は、志摩地区の低い高校就学率の向上を理由に計画通りに進

## 《図書館職員部》

専任・専門・正規の学校司書を

先の教育長交渉時において、木苗教育長から「学校司書の配置を指導する」と前向きな発言があったのでそれを踏まえて交渉を行いました。今度教委は「促す」と発言してきたので大きな変化です。

14年学校図書館法が改正され、新たに、専ら学校図書館の職務に従事する「学校司書」という職が明記され、学校に「設置する」ことが義務付けされました。事務職員を学校図書館のために1名加配し、学校図書館専任とすることを求め、専任でない者は学校司書としてカウントしないと

高教組の調査では県立高校の学校司書は3名しか確認されていません。しかし、県教委公表の静岡県子ども読書活動推進計画では全高校の7割に学校司書

## 《現業職員部》

交渉では特に、退職者の補充は新採用によること、技能長への昇任拡充、人事異動で本人の希望や家庭の事情、通勤事情などを考慮することなどを求めました。なかでも退職不補充や「トップランナー方式」で非正規化がすすみ、正規技能員が減少している実態を

明らかにし、新採用再開を強く求めました。県教委は財政上困難として要求は受け入れられないとしました。一方3級適用、技能長への昇格はすすめていきたいと回答しました。

人事希望は本人の生活に直接関わる問題であり、希望人事実現に向け取り組みを強めます。

## 《図書館職員部》

専任・専門・正規の学校司書を

先の教育長交渉時において、木苗教育長から「学校司書の配置を指導する」と前向きな発言があったのでそれを踏まえて交渉を行いました。今度教委は「促す」と発言してきたので大きな変化です。

14年学校図書館法が改正され、新たに、専ら学校図書館の職務に従事する「学校司書」という職が明記され、学校に「設置する」ことが義務付けされました。事務職員を学校図書館のために1名加配し、学校図書館専任とすることを求め、専任でない者は学校司書としてカウントしないと

高教組の調査では県立高校の学校司書は3名しか確認されていません。しかし、県教委公表の静岡県子ども読書活動推進計画では全高校の7割に学校司書

障害児学校部の特別支援教育課との交渉の様子は、2月号に特集として紹介します。

## 「きつと、いい日が続いている」

監督：イエス・バネルセン  
2016年 デンマーク映画



発売元：(株)彩プロ  
販売元：TCエンタテインメント  
価格：DVD 3,800円+税  
好評発売中  
(C)2016 Zentropa Entertainment/3 ApS, Zentropa International Sweden AB.

一九六〇年代後半のデンマークの少年養護施設が舞台の映画。二三歳エリック、一〇歳エルマの兄弟を描いた物語。父親が自死し、二人は母親と暮らす。母は病に倒れ、養護施設に入れられる。その施設には、教員による激しい体罰、性的虐待、子どもたちによるイジメが待っていた。二人は優しく声をかけたトウーヤという少年の声をナレーションで物語は進んでいく。同時期に赴任した国語の女性教師ハマーショイは、自分は体罰はしないと宣言しつつも、校長の方針を認める。その一方で、授業を通して少年たちの心の成長を目指す。特に、足に障害を持つエルマの豊かな想像力を発見し、それを理由に郵便係の仕事を与え、重労働から彼を解放する。また、交響詩「ツァラスストラはかく語りき」を聴かせたり、エルマに「子どもはいないの？」と聞かれ、流産の経験という私的な話もしたりもする。しかし、ある日ハマーショイは兄弟が、母に会いたくて、施設脱走を実行しようとしていることを、兄弟の叔父の連絡で知る。彼女は失敗の可能性が高い逃

亡計画を止めるために、彼らのところに向かうが、校長に目撃され、結果的に彼らを裏切る結果になる。エルマは彼女に激しく抗議し、「だから、先生には子どもがいなくてよかったんだ」と叫ぶ。彼女は動揺し、彼の頬を平手打ちしてしまい、自身の理念と相反することをしってしまったことに、打ちひしがれ施設を後にする。そのことをナレーションは「エルマの天使は、翌朝施設を去った」と語る。だが、エルマの彼女への信頼は、一つの失敗で崩壊したのではなかった。また、彼女の彼らへの思いも消えてはいなかった。それがこの物語の急展開に大きな影響を及ぼす。エルマの突飛で勇気ある行動では、彼女が遺した「ツァラスストラはかく語りき」が施設内に流されていることはその象徴だ。

福祉大国デンマークでも、人類が月に到達した時代にもかかわらず、この様な非人道的な養護施設が存在した。また、それと同時にこれと向き合い、変えていくこととする、少年や教員がいたことを忘れてはならない。

(編集委員 池ヶ谷八州志)